

第25回日台原子力安全セミナー(於・台湾)参加者募集のお知らせ

当協会は関係機関の協力を得て、台湾との間で原子力安全などに係る情報・意見の交換、ならびに双方の原子力関係者の交流を図るため、昭和61年(1986年)より、「日台原子力安全セミナー」を開催し、双方の関心あるテーマについて、論文発表と討論による交流を行っています。

第25回目となる今回のセミナーは、11月1日(月)～3日(水)の3日間、台湾で開催することとなり、セミナーのプログラム、台湾訪問日程等について、当協会に準備委員会(委員長:服部拓也 当協会理事長)を設置し、セミナーへの参加と共に、台湾の原子力関係施設を視察する原産協会代表団を以下の通り派遣することといたしました。

セミナーでは、原子力発電開発の現状と見通し、原子力発電所における出力増強や寿命延長、原子力発電所の建設状況、放射性廃棄物管理、放射線防護のほか、人材育成などについて、発表と意見交換が行われます。施設訪問先としては、龍門(第4)原子力発電所の建設現場と清華大学を予定しております。龍門原子力発電所は日本の大型機器提供による海外で初めての ABWR 建設プロジェクトで、これまで政治的理由により建設工事が中断された時期がありましたが、急ピッチで工事が進められており、年内にも燃料が装荷される予定とのことです。

是非ともこの機会に、セミナー参加、原子力施設の見学、台湾側関係者との交流を通じて、近隣の台湾における原子力開発の状況を直接見て理解を深め、今後の台湾との協力の可能性を探る有益な場としてご活用下さい。

ご多用中とは存じますが、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

◆第25回日台原子力安全セミナー

セミナー開催 :平成22年11月1日(月)～3日(水)[3日間]

代表団派遣 :平成22年10月31日(日)～11月4日(木)[5日間] [★行程はこちら](#)

会場 :台湾 グランド・ビクトリア・ホテル(台北)、龍門原子力発電所サイト(龍門)、清華大学(新竹)

主催 :日本側:(社)日本原子力産業協会

台湾側:原子能委員会、台湾電力公司、核能研究所、放射性物質管理局、中華核能学会

参加費 :後日、実費精算と致します。

セミナー参加費、日台合同レセプション費、答礼宴費、団員会合費、団体行動(送迎、施設見学等)に係る現地交通費、記念品費、報告書作成費等を含む。

※日台往復航空運賃は含まれません。航空券は各自ご手配願います。

※宿泊ホテルは当協会を通じて台湾側で予約します。ホテル代は、各自現地でお支払い下さい。[台北での宿泊費(朝食付き)→NT4,620×3泊、礁溪での宿泊費(二食付き)→NT6,650×1泊]

視察先 :龍門原子力発電所建設現場、清華大学

言語 :日中同時通訳付き

プログラム:[★詳細はこちらをクリック](#)

<p>11月1日 (月)</p>	<p>開会式 開会挨拶 基調セッション</p> <p>代表者報告:「台湾の原子力発電開発の現状と見通し」 「日本の原子力発電開発の現状と見通し」</p> <p>テーマ1 原子力発電所の運転管理 テーマ2 放射性廃棄物管理 テーマ3 トピックス</p> <p>特別イベント 国立故宮博物院見学 日台合同レセプション</p>
<p>11月2日 (火)</p>	<p>龍門セッション 原子力発電所の建設／運転管理 龍門原子力発電所建設現場(原子炉建屋、訓練シミュレーター)見学</p>
<p>11月3日 (水)</p>	<p>清華大学セッション 人材育成 清華大学(BNCT、シンクロトロン研究所)見学</p> <p>日本側答礼宴(未定)</p>

参加申込締切:平成22年10月8日(金) [★申込用紙のダウンロード](#)

お問い合わせ先:日本原子力産業協会 国際部 石井 小野瀬
e-mail: nittai@jaif.or.jp
電話／03-6812-7109、FAX／03-6812-7110